

# 医療・ヘルスケアで新ビジネス誕生

## 医療機器開発へ産学官連携・人材育成

群馬、栃木、茨城の北関東3県は中小製造業の集積と東京に近接する地の利を生かし、医療・ヘルスケア産業を育成している。長寿社会化に加えて新型コロナウイルス感染症拡大など新たな脅威の台頭で、同分野は今後も市場成長が見込まれる。電機、自動車などこれまで多様な分野で培ってきた技術とノウハウで新たなビジネス立ち上げを目指す。

### 栃木県 成長産業 重点支援

2021年4月から3カ月間、24時間の稼働で6000万本の注射針を一手に請け負った。県としては、医療、福祉機器産業の企業に対して、AI、IoT技術を活用した支援に取り組み。セミナーや医工連携のマッチング、開発支援のための補助金を交付している。

### 技術向上 地域で実績

## 機器開発に生かす

などの自動車メーカー、スバルの航空宇宙カンパニーなど大手企業が集積している。また、歯科医療用ハンドピースを手がけるナカニシ、外科用の精密な医療機器を製造するマニール、コンピューター断層撮影装置（CT）や磁気共鳴断層撮影装置（MRI）を手がけるキヤノンメディカルシステムズ（栃木県大田原市）など、大手医療機器メーカーが立地している。こうして伝統的に発展してきた産業構造の中で、県内中小製造業はメーカーから高い水準で技術力を求められ、加工技術を高め、ノウハウを積み上げてきた。

栃木県は、「新とちぎ産業成長戦略」の重点施策の一つとして「ものづくり産業躍進プロジェクト」を掲げている。同プロジェクトでは、自動車、航空宇宙、医療、福祉機器産業への重点的な支援を行い、「戦略3産業」に位置づけている。これに人工知能（AI）、IoT（モノのインターネット）やロボットの活用を連携させた支援を県内企業に対して行っている。産業別に県内の立地企業を見ると、ホンダや日産自動車

栃木精工（栃木県栃木市）は、注射針や消化器系カテーテルなどをOEM（相手先ブランド）で製造する。医療機器製造のほか、鋼管加工や磁性材料製品「パーマロイ」を手がけている。同社では、新型コロナウイルスワクチン用の注射針を製造している。従来から薬液ロスの少ない「ローデッドタイプ」の注射針の製造に取り組んでおり、生産能



栃木精工が今回製造した薬液ロスの少ない「ローデッドタイプ」の注射針（写真左）、従来型の注射針（同右）

## 医工連携マッチング支援・得意技術で新分野開拓